

From JPMA

『創薬立国』実現に向けた提言

「創薬立国」の実現に向けて、①イノベーションを支える人材の育成、②危機感とスピード感をもった産官学連携の取り組み、③健康・医療予算のさらなる拡充と重点化の3点を製薬協として提言したいと思います。これらを着実に進めていくことによって、製薬産業としての多岐にわたる貢献が将来にわたっても可能となると考えます。目指すべき産業の将来像やその実現に必要な施策等を産官学で共有するとともに、その中での産官学それぞれの役割などを再確認し、今後の取り組みのさらなる充実と加速につなげたいと思います。



日本製薬工業協会
会長 手代木 功

(9月13日 政策セミナーより)

日本製薬工業協会(製薬協)

Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者参加型の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。